

◎東京だより

田中生

肅啓、陽春の候、柳條既に縁を含み萬花に紅醉するも亦近きことと被存候、解散否な會期の延長と種々に噂されたる第五十一回帝國議會も豫定の三ヶ月を以て喧騒裡に閉會を告げ申候、回顧すれば此三ヶ月、定例とは言ふもの近時稀に觀る喧嘩騒擾の多かりしは吾人をして顰笑せしめ申候、政黨派が國政上に於ける其の所見を異にして喧騒を極むるは尙恕すとするも、相互に敵の醜を發き合ひ、所謂五千圓事件を始めとし松島遊廓事件三百萬圓事件陸軍機密費事件と、次から次へ醜情を摘發し反對黨を傷けむが爲には其の手段を擇はざるの輕舉を敢てし、相抗争して議場を混亂裡に陥らしめたる如きは亘に自分を傷つくるものにして遊女の争に異らず候、或は是等の醜狀を摘發して既成政黨の内部に存する弊風を芟除し、政界改革の動機を與ふる義に候はゞ忍ぶべしとするも、之を原因として言論に代ふ

るに暴力を以てし、神聖なるべき議場に於て殺せ殺すの言を聞くに至りては政治的進化の逆轉と言ふべく、八公熊公の爭と選ぶ所なく是等偽選良を選舉したる國民は今や普選に直面して大に考慮せざるべからざる義と存候。

是等の議員よりして歳費倍増案が提出されたることは自分を知らざるの甚敷に驚くの外無之候、増額の理由とする所は現在の三千圓を以てしては議員の體面を維持し獨立の生活を支持する能はざるに由るものゝ趣に候得共、參議縦に三ヶ月他の九ヶ月は他の業務に就き得る議員が一ヶ月に一千圓を得て尙足らずと爲すが如きは、他の公職に在る者の給與に對比して果して正當なる要求なるや、思半ばに過ぐるもの可有之候、若し議員の職を以て生活せむとするに在りとせば會期を更に延長して其の報酬を要求するの合理的なるに之を計畫せず、兎も角收入の増加を圖らむとする心

事の陋劣は唾棄すべきものと可申候、萬一生活を支持する能はす

トする

も現時

我國の

公職に

在るも

のにし

て生活

を支持

し能は

さるも

の獨り

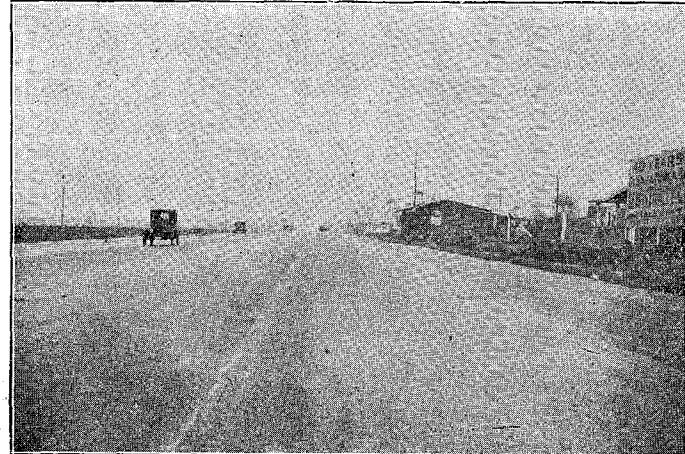
議員の

みに非

る如きは吾人の斷して許さざる所なりしも幸に幹部の抑制に依りて不謹慎なる提案が撤回されたるは國民の幸福とする所に御座候、唯だ此問題に關連して吾人の記憶に遺し置かざるべからざるは二事に有之、一は常に事毎に相争ふ政黨の黨員が欣然相和して本件を提案し、阿婆好くば風に靡かむものと政友及本黨の兩者が自由問題と爲したこと、其の一は所謂陣笠議員が黨幹部の指揮に服せず幹部も一票ならば吾も亦一投票を有すとの見解を持するに至りたることに有之候、前者は議員のさもしき心根を暴露したるもの後者は陣笠議員の自覺し來りたることを物語るものと觀るべく候得共、與黨たる憲政會の議員が提案賛成者の大部分を占め、政府の緊縮方針に相反する行動を爲すに至りたることは、憲政會將來の爲に注意すべきことに非ざるかと存候。

審議されたるもの其の分量に於て不妙、十五年度總豫算を始めとし、稅制整理の諸法案等政府提出議案八十六件中

各省現業員の如き其の最も甚敷ものなるに拘はらず是等下



出版法、労働組合法及議院中改正法案の三件を議了せざりし位にして、形式的に言はば好成績を収めたるものと可評候無理解の下に提出されたる鐵道敷設法中改正案が否決されたるは當然と言ふべく、樺太醤油税廢止に關する法律案が、撤回の已むべからざるに至りたる痕跡を遺したるに過ぎず候得共、其の内容に就き觀るときは其の議決に對し吾人の感服する能はざるもの多々有之候、社會政策的立法に力を入れざるべからざる衆議院が總に労働爭議調停法に協賛を與へ、労働組合法を握り潰したるが如きは誠意を缺く仕業と言ふべく、其他税制の整理に關しては何等中央集權主義を緩和することなくして、政友本黨の爲に無理解なる折衷案と化したるが如き、何れも遺憾とする所に候、併しながら既に過ぎ去りたること今は何を申べき、唯た大正十五年度總豫算が憲政會從來の主張を裏切つて十六億四千萬圓の鉅額に達し、尙加ふるに政友本黨の妥協に依りて次年度以降に於ける支出を約束したるが如きは、憲政會が在野富時唱へたる財政緊縮方針が現時に於ける我國民の要

求に適應せざることを物語るものにして。這般の事情は憲

政會の
諸氏に
好教訓
を與へ

たるも
のと可

申、次

りては

成に當

此教訓
に鑑み

更に積

算の編

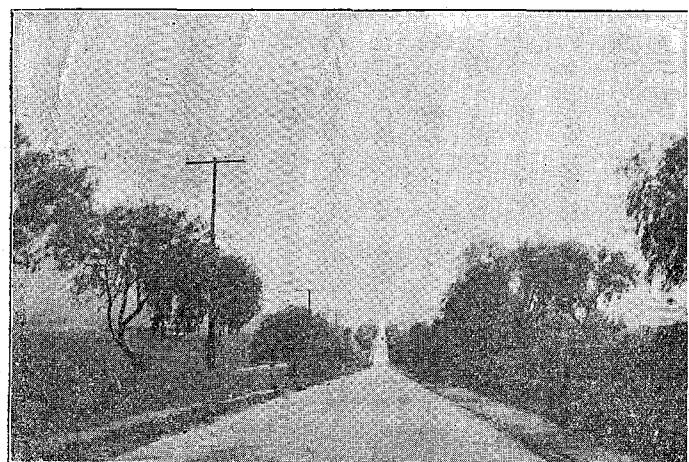
成に當

りては

此教訓
に鑑み

更に積

極政策



部一の路道線直上以埋十の イエウイハ・チウカ るけ於に外郊
(市スルセンアスロ州加國米)

郡役所の廢止に就いては吾人其の否を論する一再に止まらず衆

議院が
之に賛
成した
る無定
見を責
め、貴
族院に
於て否
決すべ
きを希
望致し
置候處
幸に同
院の勅



樹路街きし美
リツムーパ
州加國米)
(ナバサ)

道路の

選闈が吾人の説に賛するの傾向を有し吾が意を強からしめ

たる所に有之候處、同院に於ても亦郡役所の廢止は町村行
政の現状に鑑み其の利害得失今遽に斷じ難きものあるも、
暫く政府の言明を信し敢て政府の提案に同意するものなる
を以て、政府は町村民に對し著しく不便を與ふと認めらる
る地方には支廳を設置する等適當なる施設を爲し、町村行
政指導監督上遺憾なき善後措置を講ずべき希望議決を爲
し、豫算に協賛を與へ候は世間知らずの紈袴子氣分と無能
振りを顯はし居申候、郡長を廢止することに依りて政府提
出の豫算を修正せざるべからざるに至るは當初より判りき
つたことに有之、是を理由として附帶決議を爲す位ならば
當初より聲を大にして反対するの愚を爲すの要無之、廢止
の利害得失を斷じ難き狀況の下に豫算等に協賛を與へたる
は其の任務を儘さざるものと言ふべく、貴族院無用論の現
はるるも亦當然かと存候。

議會の終了に次て各政黨は開會中の醜態をさも忘れた
るが如く、勝手な手前味噌を並べ居候、妥協之れ能事とす
る政友本黨に於ては妥協したる所以を述べ、一大政黨の樹

立を希望するも小黨の分立する現下の政情に於ては、雅量ある協調交譲に待つに非ずむば主義政策を實現する能はざりしを以て、建設的態度を持し是を是とし非を非とし眼中政府なく憲政會乃至政友會なく、唯た國利民福の爲純眞なる信條を發揮したと宣傳致居候、併しながら眞に二大政黨の樹立を希望するに在らば、政府與黨との苟合妥協を排し議會を解散して二大政黨の樹立に儘すべき筋合なるに拘はらず、徒に現下の政情に籍口して妥協是れ力め解散回避の舉に出でたるは、著しく本黨の信用を失墜し如何に宣傳するも恐らく國民の承認せざる所と存候。

議事の妨害に是れ力めたる政友會に於ても、政府提出の重要案に對し吾が黨の意見を國民に徹底せしめ、妥協苟合を排して單獨に奮闘したる其意氣を自賞し、此意氣を以て將來の難關を開けさせば國民の信望は吾が黨に集中し天下は我手に歸するものと申居候、併しながら靜に同黨が此期議會に於て爲したる業績を想ふときは、政府案に反対せむが爲の反対を爲したるに過ぎずして、同黨の權威は何等稱す

べきものなく徒に騒ぎたることに有之。天下は容易

に其の

手に歸

せざる

べく、

吾人は

既成政

黨の何

れもに

對し何

等の期

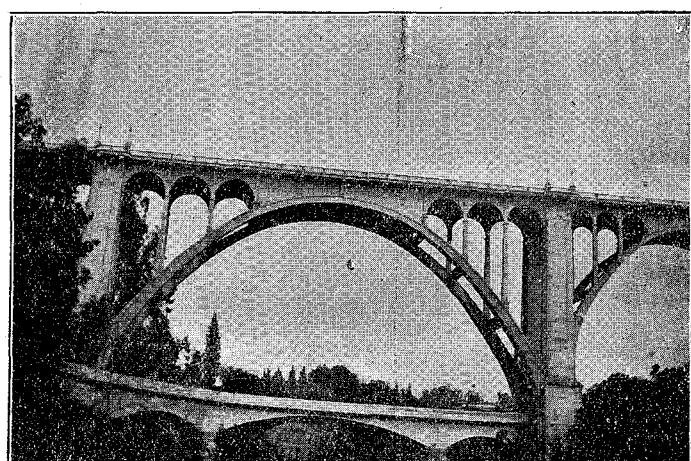
待を有

せざる

を以て

普選に

依りて



ト：リツティニア橋

（米国）

（ナッシュバーヴィル州）

（意注に橋段二下上）

目醒めたる政黨の出現を希望する次第に御座候。

衆議院に於て三分の一の與黨を有する現内閣が兎角の批難

ありし

にせよ

多難な

りし第

五十一

議會を

切り抜

け、曲

りなり

にも憲

政會年

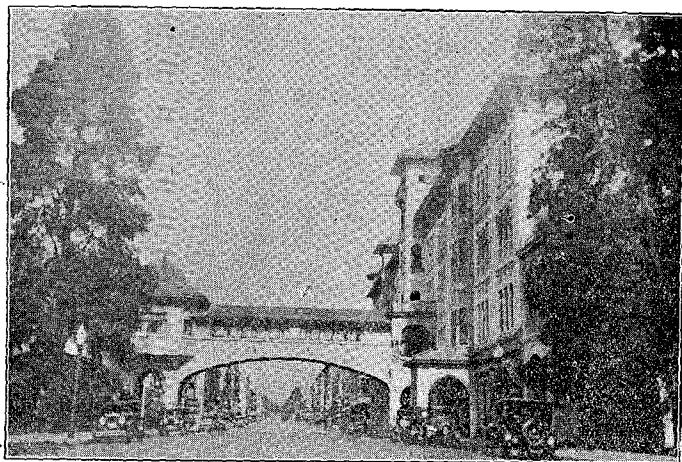
政會年

來の主

張を實

現した

は政黨として成效と可申候得共、内閣改造の急に直面する



道 路 上 の ホ ル テ ル ド ラ ウ ト 通 用 路 橋 (米 國 加 州 ア バ ス 市)

若槻首相の此後が見ものに有之候、盡し専任内相の補充は當然に行はざるべからざるの外、鐵道豫算の修正に依りて片瀬に逃避したる仙石鐵相と、院議無視問題に祟られたる岡田文相とは共に其の地位に安する能はざるを以て桂冠するに至るべく、此くなるときは三相の補充が他の現閣員にも波及して實質的内閣の改造を招起するに至ることに有之候、憲政會單獨の内閣を維持することは、現閣僚は勿論憲政會全部の希望する所ならむも與黨の少き悲しさは今期議會に顯はれるたるが如く、政敵政友本黨の前に叩頭せざるべからざるの陋態を再すること、爲るを以て茲に組閣難の惱を觀るに至り候、或者政策の一一致を理由として憲本聯立内閣を唱導するもの有之、歳費増額運動が其の裏面を物語るものゝ如く申居候得共、加藤前内閣當時に於て政憲の聯立に惱されたる憲政會内閣が再び其の愚を繰返すとは考へられず、又政友本黨にしても政策本位を主張する看板の手前もあることと、次期の内閣組織に鑑み現内閣の責任を分擔するの不利益を知るを以て聯立に同意することは萬可無

之被存候、或者貴族院に於ける一派と提携して現状を維持すべきことを申居候得共、之も亦憲本の聯立と其の價値を同ふし原敬内閣時代に於ける失策と同一の結果に到來すべきを以て、聰明なる若槻首相の採らざる所なるべく被考候、吾人は憲政會が本黨と言はず貴族院の一派と言はず他のものと聯立乃至提携することとは憲政會内閣の崩壊を來すものと存候に付、純然たる單獨内閣を維持し今期議會に於て行ひたるが如き苟合妥協を排し、第五十二議會に於て之を解散することこそ政治の常道にして



米カウマ州加利福尼亞ソルリウトシ

弊の刷新を圖り、政治の經濟化を期することに在る趣に候得共、吾人は既成政黨の宣言やら其の掲ぐる主義政策を信頼するものに無之、此聯盟も亦同志會十九名の同志を得るが爲の姑息手段に外ならず候、此の如き手段に訴へて漸次同志の増加を圖らむとするも到底憲政政友の二黨に匹敵する能はざるは明かに有之、今期議會に於て爲したる妥協の罪惡は國民の見逃さざるけんに川平氏所なるを以て、極面を展開せむとするに在らば宣しく本黨の

憲政會の活路を開く所以に非ざるかと存候。

一大政黨の對立を圖る爲か政友本黨は實業同志會と聯盟

することに相成候、其の茲に至りしは政治の公明を期し黨

議會の閉會に依つて新年度事業も確定したるを以て恒例に依り近く地方長官會議開催さるべく、其の以前に於て一

根本的改造を必要と可致候。

部地方長官より交迭あるやに報せられ候、前回に於ける交迭は組閣後早々のことなりしを以て、内相自ら其の人を知らず、他人の言に聽きて交迭せしめたる趣にして後日不適任者を發見したるもの渺なからざるやに承居候、又多數の地方長官中には實際其の手腕能力を疑ふものあるは吾人の指摘を俟たざる所に有之、時の政府の思はざる意を忖度して之を地方行政に移し、内閣當路の鼻息を窺ふもの有之、此の如き地方長官を有する秋、吾人等の主張は顧みられずして町村行政の監督實際に當るべき郡長制度が廢止せられ、從來郡長に會見し其の指揮を受けたものが、直接知事の指揮を受くること、爲りしを以て地方長官は一層超政治的のものたるを要し候に付、此際私事私情を排し從來疑問視せられたる地方長官を整理することこそ、天が若槻氏に下したる使命かと存じ決斷を促して已まさる次第に御座候。

年度末に方り地方より内務省へ出頭する者多く、府縣會

の議決に付原案執行の指揮を受くるもの又は府縣道路線の認定を申請するもの或は起債許可の促進を運動するもの等

にて混雜を極め居候、原案執行の路政に付夙聞する所に依れば、無理な緊縮を不當とし道路改良費豫算の増額を圖らむとするもの多數を占め、唯だ熊本縣だけが原案の豫算を縮少せむと爲したるに止る趣に有之候、同縣會の意見は道路維持費豫算を縮少するの一方多くの府縣道路線を認定せむとするに在りて、同縣會だけが路政に付覺醒せざるもの如く氣の毒の感に不堪候、今回の路線を認定せむとするもの多くは餘り價値なきものを唯だ地方の要求に基き認定せむとするものにして之を査定する當局も手古摺居申候、此くして曩年確定せられたる道路綱が、或種の權勢に禍され漸次潰滅に歸すること有之候ては、我國路政上遺憾とする所なるを以て當局の嚴重なる査定を希望して已まさる次第に御座候 敬具

×

×

—

×

×